

[ミニニュース]

衛生動物シリーズ (チョウバエ)

ごく普通に見ることのできる虫です。台所、お風呂場など湿気の多いところで、フワリ、フワリと浮かんでいるように飛んでいたりと、壁面や窓ガラスなどで静止しています。

チョウバエはどんな虫

家屋内ではオオチョウバエ、ホシチョウバエの2種類が見つかります。オオチョウバエは体長5mm、ホシチョウバエは2mm程度と非常に小さな虫です。いずれも体全体がフサフサの細かい毛に覆われています。

成虫は、排水溝、下水道などの有機物をたっぷり含んだ汚泥に卵を産み付けます。卵は幼虫になり、汚泥を食べて成長し、蛹になり、そして蛹から成虫が羽化します。



オオチョウバエ

衛生上の害

幼虫、蛹が排水溝、下水道などで生息しているため、不衛生です。

対策

少しの発生では、それほど気にする必要もないでしょう。気になるのなら、昆虫採集用の網で取りましょう。また、次のような事例で室内に大量発生することがありました。注意して下さい。

排水口の故障

風呂場、台所などの排水口は、下水管から臭いや虫が上がってこないように水がたまる仕組みになっています。これを防臭弁と言います。この防臭弁がひび割れなどで水が溜まらなくなると下水管から臭いや虫が上がってきます。また、長期間使用しないと防臭弁の水が乾燥してしまい防臭弁の役割を果たさなくなってしまう。

ビルの汚水槽

ビルには汚水を貯める汚水槽がある場合があります。その汚水槽もチョウバエの発生源になりえます。汚水槽に発生した成虫が汚水槽の隙間や排水管を通してビル内に大量に侵入した事例もあります。汚水槽の隙間を目張りするなどして、成虫の侵入経路をふさぐことが必要です。また、汚水槽の清掃、管理を行い、幼虫の発生を防ぐことも必要です。